

オンパク事業の評価手法（簡易モデル）について

オンパク事業は、下記を目的としておこなわれる。その為の事業評価尺度を揃えている。

- ・ 地域コミュニティの変化 多彩な地域資源を発掘、紹介（発信）、体験を通じて、地域住民等に地域の価値を再認識してもらい変化を促す。
- ・ 地域の団体や事業者の育成 プログラムへの参加・チャレンジを通じて地域の団体や事業者に変化を促し、事業を成長させる。
- ・ 自立した中間支援組織の育成 地域において広範なネットワークを持つ中間支援組織を育成して問題解決の基盤とする。

上記目的の達成度の評価尺度として以下を用意している

| No | 評価尺度 | 評価基準 |
|-------------------|-------------------------------------------|----------------------------------------------------------|
| ■地域コミュニティに変化をもたらす | | |
| 1 | 巻込む力＝パートナーさんやスポンサーさんなど幅広いステークホルダーと連携していく力 | 直近のオンパク開催時の関連事業者の総数 A 100以上 B 50-99 C 49以下 |
| 2 | 伝える力＝オンパク・プログラムへの地域住民の参加を通じて地域の魅力を再発見する。 | オンパク・プログラム参加者の数 A：1,000以上 B：300-999 C：299以下 |
| 3 | 集客する力＝オンパクが大好きな地域住民を集客基盤化する | ファンクラブの累積会員登録数 A 1,000以上 B 300-999 C 299以下 |
| 4 | 発信する力＝地域の魅力を伝える力 | オンパク前後に関連する活動がメディアを通じて何度発信されたか？ A 30回以上 B 10-29 C 9以下 |

| ■地域の団体や事業者に変化を促す | | |
|------------------|-------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 5 | チャレンジ誘発力 ＝地域の団体や事業者に新たなサービスや商品開発等のチャレンジをさせる力 | オンパク・プログラムとしてのチャレンジが行われた数（＝プログラムの数） <u>A 50以上 B 30-49 C 29以下</u> |
| 6 | 事業創出力＝チャレンジから事業を育てる力 | オンパクの終了後もチャレンジが継続している状態をいくつ作り出せたか？ <u>A 5以上 B 1-4 C 0</u> |
| ■自立した中間支援組織を育てる | | |
| 7 | 資金獲得力＝多様な手段で十分な資金を獲得できる力 | 活動資金は獲得できているか？ 資金獲得先は多様か？ 説明責任を果たす努力をしているか？ 行政への政策提言力はあるか？ 関係者から活動が評価されているか？ <u>ヒアリングを通じ総合的に判断 A/B/C</u> |
| 8 | 組織運営力＝いきいきした組織にする力 | 組織の目的は共有されているか？ 楽しく運営されているか？ スタッフの新規加入はあるか？ スタッフは成長しているか？ <u>ヒアリングを通じ総合的に判断 A/B/C</u> |

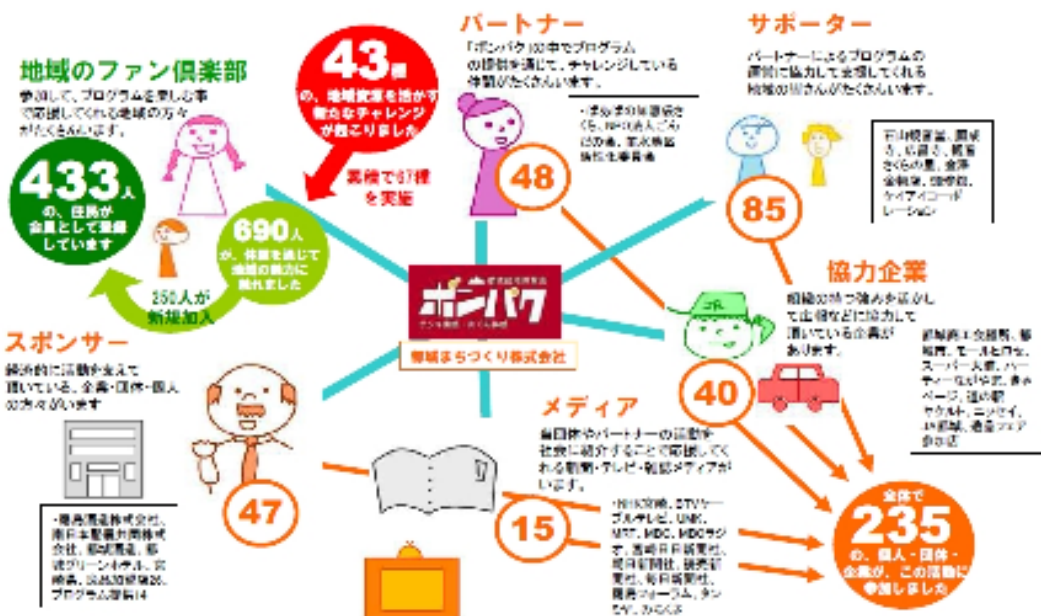
上記の各評価尺度における結果を総合的に判断し、オンパク型中間支援組織の成長段階を以下のフェーズで決める

| フェーズ・状態 | 評価基準 |
|-------------------------------------------|-------|
| フェーズ1 オンパク・イベントを開始してなく、不十分な状態 | 大部分がC |
| フェーズ2 オンパク型中間支援組織として成長途上であるが、継続的に事業を行える状態 | 大部分がB |
| フェーズ3 オンパク型中間支援組織として継続的かつ効果的に事業を行う事が可能な状態 | 大部分がA |

参考：ステークホルダーマップ

上記の評価尺度を整理・共有するためにステークホルダーマップを作製する。(下記は、都城における2009年の取組事例)

第2回「都城盆地博覧会」の成果と関係者マップ (2009年10/10-11/1)
都城まちづくり会社の「都城盆地博覧会」事業は、多くの住民・団体・企業が参加する地域づくりプラットフォームになっています



オンパク事業の評価手法（簡易モデル）については、立命館アジア太平洋大学大学院の三好皓一教授の監修により作成されました。